

政策提言と 提言に向けたモデ ル作り

“TsumuguBito”

2015年2月6日

福原 秀一

介護1000万人の輪の活動

- ▶ 2009年5月星陵会館にて政策討論会。（自公政権下）
- ▶ 2010年2月。厚生労働大臣あてに提言書を提出。記者会見も実施。
- ▶ 2010年5月星陵会館にて政策討論会。（民主政権下）
大阪と仙台でも政策討論会を開催。
- ▶ 介護1000万人の輪の運営委員メンバー
 - ・樋口恵子 ・白澤政和 ・高見国生
 - ・大熊由紀子 ・日本介護支援専門員協会 ・SILサービス向上研究会
 - ・木間昭子 社会保障審議会委員 ・介護系NPO法人の代表者
 - ・日本在宅介護協会 ・ヤマシタコーポレーション ・日本介護福祉士会
 - ・市民福祉団体全国協議会 ・日本高齢者生活協同組合連合会 ・シニア社会学会
 - ・石毛鍬子 衆議院議員 ・山崎麻耶 衆議院議員 ・渥美雅子 弁護士
 - ・住田裕子 弁護士 ・沖藤典子 ノンフィクション作家 ・桜美林大学 島津淳
 - ・UIゼンセン同盟 日本介護クラフトユニオン ・ホームヘルパー全国連絡会
 - ・所沢市総合政策部 政策審議担当参事 鏡諭 ・淑徳大学 結城康博
 - ・東洋大学 柴田範子 ・介護者サポートネットワークセンター アラジン
 - ・認知症の人と家族の会 ・ニチイ学館 ・日本アビリティーズ協会
 - ・社団福祉法人代表や施設長

活動経験から ～提言検討段階で配慮したいこと～

- ▶ 一端接着
- ▶ 相違した意見は不可欠。人選は大切。
- ▶ 議長は力量と、人柄。
- ▶ レッテル張りは必ずしも悪くない。レッテルの張替。
- ▶ ノーマライゼーション。多様な基準で意見交換。
- ▶ 自立。
身体的自立、精神的自立、経済的自立、社会的自立、生活的自立、
文化・芸術・創造的自立、契約的・政治的自立。
- ▶ コミュニティと家族をステークホルダーとして位置付けることも。
- ▶ 政治を考える。思い込みの正義感は実践不可能な提言に通じる。
- ▶ デジタルな区分から不合理が起こる。アナログ思考で段差を滑らかに。

政策提言について、私のディスカッション・ポイント提示

- ▶ 性悪説に立った法体系。フェイバーを与えるような法律を作ると、その監視機関をセットで作る。
- ▶ 性善説のルールを作って、志ある人たちの善意で制度を作ること
は可能か。
コミュニティでなら可能ではないか。ルール違反はオンブズパー
ソンが監視するということが、コミュニティではできるのではない
か。
- ▶ 例えば、ローソンが店舗にケアマネを配置することを、検討して
いる。コミュニティのあり方としてバランスを壊す存在にならない
かなど、コミュニティベースで考える時代になっているのでは
ないか。
- ▶ よってこれからの提言は、国政においてと、コミュニティにおい
ての二元性を常に検討したうえで行う必要があるのではないか。